

ColorBlast Powercore カラーブラスト パワーコア

・定格

定格入力電圧	定格入力電流	定格消費電力
AC100V-240V (50Hz/60Hz)	0.5A-0.2A	50W 最大

・使用環境

場所	温度	湿度
屋内外	-5℃~35℃	0%~95% 結露なし

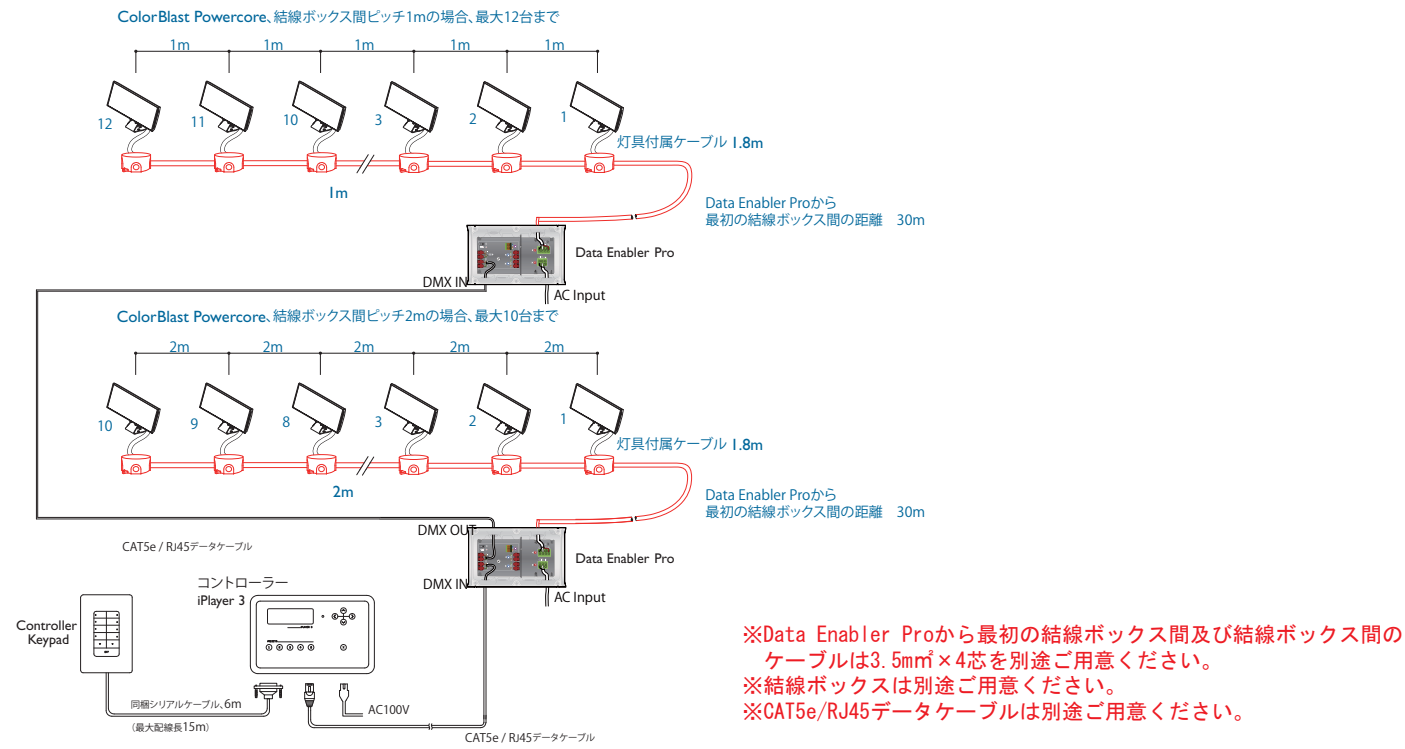
工事店様へ、工事が終わりましたらこの取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。
お客様へ、この取扱説明書はお読みになった後も必ず大切に保管してください。

株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
ライティング事業部 ゼネラルライティング

〒108-8507 東京都港区港南2-13-37 フィリップスビル TEL (03) 3740-5156 FAX (03) 3740-5163 Rev:07

取扱説明書

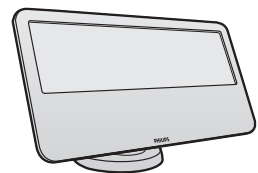
1 下図を参考に配線条件をご確認ください。



- ・Data Enabler Pro1台あたりのColorBlast Powercore最大接続台数
 AC100V、結線ボックス間ピッチ1m・Data Enabler Proから最初の結線ボックス間ピッチ30mの場合・・・12台（合計配線距離41m）
 AC100V、結線ボックス間ピッチ2m・Data Enabler Proから最初の結線ボックス間ピッチ30mの場合・・・10台（合計配線距離48m）
 AC200V、結線ボックス間ピッチ1m・Data Enabler Proから最初の結線ボックス間ピッチ30mの場合・・・21台（合計配線距離50m）
 AC200V、結線ボックス間ピッチ2m・Data Enabler Proから最初の結線ボックス間ピッチ30mの場合・・・11台（合計配線距離50m）
 上記合計配線距離と最大接続台数以内であれば、結線ボックス間のピッチは自由に変更可能です。

・データタイネーブラープロが32台以上、またはデータ線合計が100mを超えるシステムでは別途DMXリピーター（信号増幅器）が必要となります。
 ■ライトアドレス：灯具を個別制御するには事前にアドレス設定が必要です。詳細はお問い合わせください。

2 箱を開いて製品を取り出します。箱には以下のものが入っています。全て入っているか確認してください。



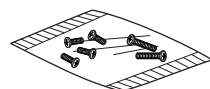
ColorBlast Powercore
(付属ケーブル1.8m)



六角レンチ
(1/8インチ)



パッキン

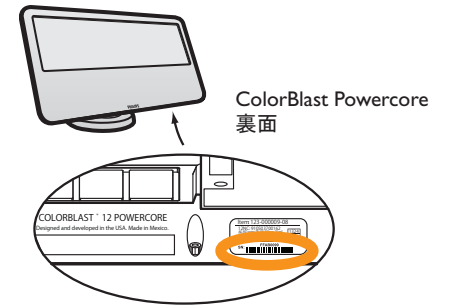


ネジ... 大 2本
小 4本

3 シリアルナンバーの記録

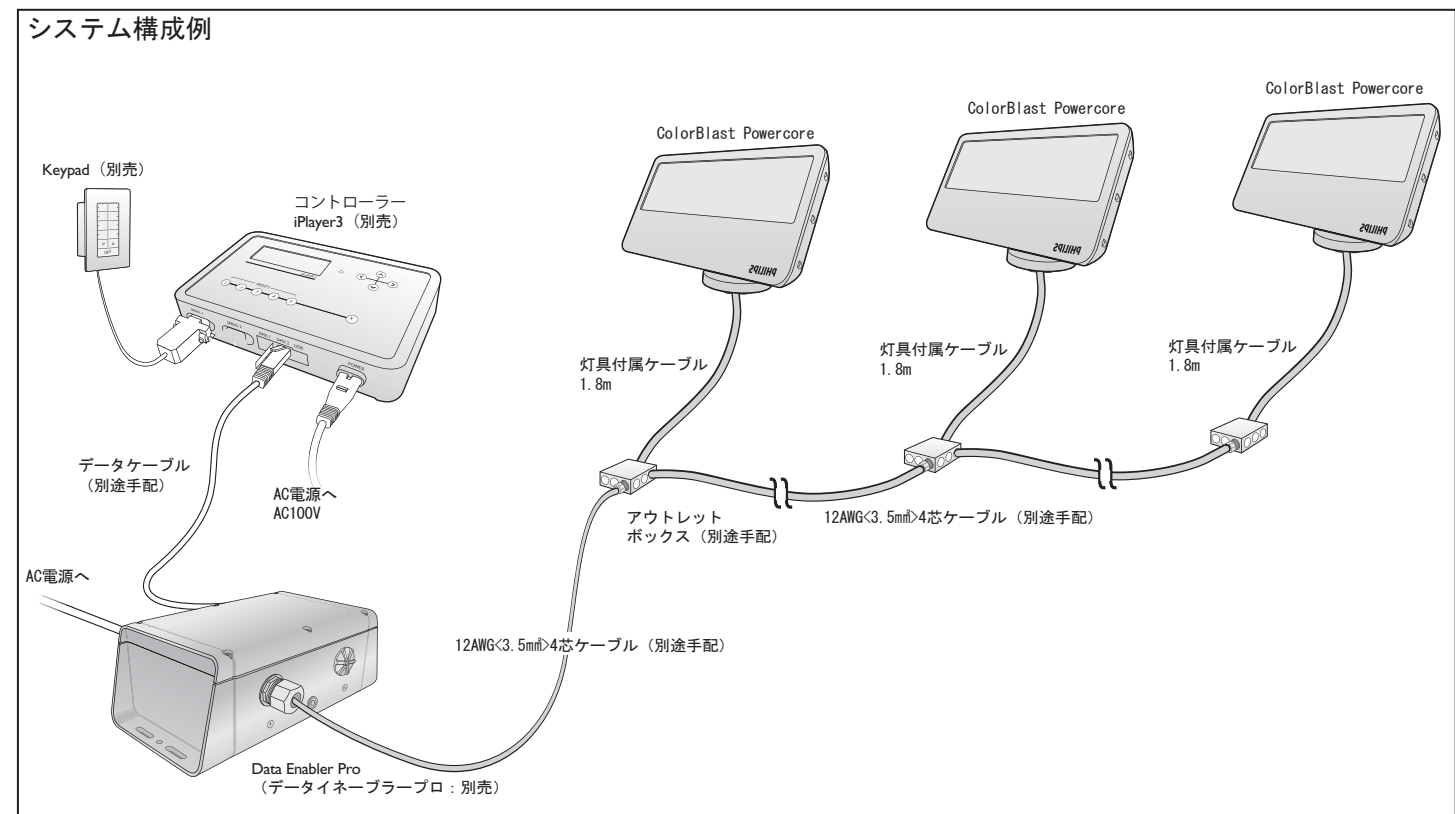
ColorBlast Powercore には製造時に個別のシリアルナンバーが付いています。シリアルナンバーはライトアドレスを変更する際に必要になりますので、事前にシリアルナンバーとライトアドレスを配線図上に控えておいてください。また、ColorBlast Powercore 本体にも設定したライトアドレスを耐候ラベルなどを使用し明記しておくことをおすすめします。

※出荷時のアドレス設定サポート（有償）をご依頼されている場合は必要ありません。



4 電源が入っていないことを確認します。全ての機材の接続が終わるまで電源を入れないでください。

5 システム構成例



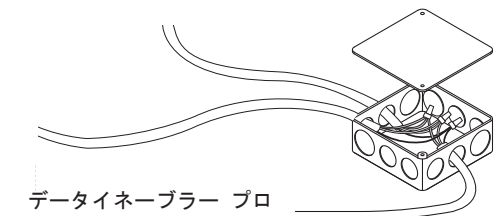
6 ColorBlast Powercoreの配線と取付

・配線について

ColorBlast Powercoreは屋内・屋外両方で使用できますが、屋外で使用する場合はアウトレットボックスなどを用い、防水処理を確実にする必要があります。

- ・配線には12AWG<3.5mmφ>4芯ケーブルを用います。
- ・ケーブルをアウトレットボックスに通します。また、ボックスが複数ある場合はボックス間にも引きまわします。
- ・ColorBlast Powercoreの付属のケーブルをそれぞれのアウトレットボックスに引き込み結線に必要な長さを残してカットします。
- ・圧着端子を用いてライン（茶）、ニュートラル（グレー）、グラウンド（緑/黄）、データ（黒）のワイヤをそれぞれ正しく結線します。

ColorBlast Powercoreまたは
アウトレットボックスへ



データタイネーブラー プロ
または
アウトレットボックスへ